



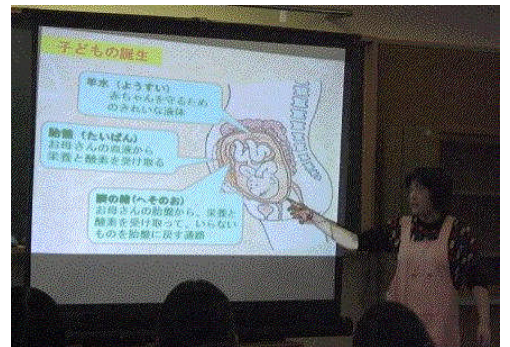
スキルアップ講座～2013★

命の大切さ！

講師 秋田県助産師会 古田先生 佐藤先生

二学期12月17日の3年生の「スキルアップ講座～命の大切さ」の時間には、秋田県助産師会から助産師さんとして働いている、古田先生と佐藤先生に来ていただき「命の大切さ」について詳しく学ぶことができました。

助産師さんの仕事を詳しく学んだり、実際の大きさの赤ちゃんの人形を抱っこするなど、赤ちゃんの重みを感じ、『命』の重さも感じる事ができたと思います。進路が決定している3年生にとって、『命』を与え、育ててくれた家族への感謝や、今後の自分の人生について考えることのできた素晴らしい時間でした。ありがとうございました。



感想コーナー

- ・ 助産師さんの仕事は、出産を手伝うだけだと思っていましたが、生まれる前の妊婦や生まれた後の子育てのアドバイスをし、守っていく役割もあるのだと初めて知りました。
- ・ 最後の『生きていてだけで 100 点満点』という言葉に感動し、「私も 100 点満点でいいんだ」と嬉しく思いました。
- ・ 様々な大きさの人形の赤ちゃんを抱っこしてみて、小さいのにとっても重いことに驚きました。折り紙の小さな穴から、生まれてくるまでの 266 日の中で、赤ちゃんの成長の早さをより実感しました。私が生まれたときも、かなり時間がかかったと聞いています。それを考えると、生まれてきたことに感謝しながら、私がいる意味をしっかり考え、行動していきたいと思いました。将来のために、自分の体、心、命を大切に、よりよい大人になりたいと思います。
- ・ 涙には3通りあるということを知りました。この世に生まれてきた命の重さを大切にしていきたいです。また、親が自分を産んでくれたという感謝の心を忘れずに生きていきたいです。さらに、自分は待ち望んで生まれてきたということ、自分の命も大切に、他の人の命も大切にすることを、常に意識していきたいです。
- ・ 赤ちゃんの成長は、10 ヶ月でテニスボールから東京ドームくらいの大きさになるということを知り、びっくりしました。短期間で大きくなるとしているので、心拍数も多く、赤ちゃんもお腹の中で頑張っているのだなと感動し、自分の命を大切にしていかななくてはと思いました。
- ・ 受精したときは本当に小さくて、40 日でも大豆くらいの大きさしかないのに驚きました。新しい命が授かるのはとても奇跡的です。でも、今、妊娠してしまったら夢が叶えられないかもしれないし、経済的にも育てていけるかわかりません。また、体も完全ではないので負担がかかるのでしっかり考えて、赤ちゃんを待ち望んで産んであげたいと思いました。
- ・ 私の生命の始まりが、小さな点だったと思うと驚きです。命が生まれるというのは、ものすごいことだということも分かりました。生きていれば、一度は生きていく事に自信がなくなるときがあると思います。でも、『生きていてだけで 100 点満点』という言葉で、自信が持て、頑張ろうと思えました。これからの人生も、ありのままの自分で、親からもらった命を大切にしていき、一生懸命生きていきたいと思いました。



★ みなさん、すばらしい感想をありがとうございました。★